

令和6年第1回北海道議会定例会 予算特別委員会（補正集中審議） 開催状況（経済部観光局）

開催年月日 令和6年3月8日
 質問者 日本共産党 丸山 はるみ 委員
 答弁者 アドベンチャートラベル担当局長、
 アドベンチャートラベル担当課長

質問要旨	答弁要旨
<p>一 観光振興について （丸山委員） 欧米豪FIT旅行客誘客・受入事業費約1億6千万円が提案されています。我が会派は既に一般質問においてこのような事業を最終補正に組み込むこと自体が問題だということで質しておりますけれども、一般質問を踏まえて以下伺ってまいります。</p> <p>（一）観光振興機構会長との面談について 2月26日、知事に関しては道庁職員の同席がないと承知しています。そして、観光振興機構会長との面談メモによりますと、機構の方も同席者はないというふうに読み取れます。この道と機構の間で予算に関する認識の違いがあったというふうにメモに記載があるんですけども、予算に関する認識の違いというのは、具体的に何を指しているのでしょうか。</p> <p>【指摘】 （丸山委員） 聞いているのは具体的に認識の違いって何ですかってことなんですけれども、重ねて聞いてもこれ以上出てこないというふうに思っていますので、ただ、本庁の職員の随行もなくですね、密談と言われるような状況を作ったということは問題だというふうに指摘しておきたいというふうに思います。</p> <p>（二）観光庁公募事業について （丸山委員） 提案された事業に係る予算提案が本最終補正までずれ込んだ理由について「観光庁公募事業の内容」を理由としていますけれども、この事業が公表されたのはいつか。また、道が機構の公募申請を知ったのはいつか。繰り返しになりますけれども、お答えをお願いします。</p> <p>（三）事業の執行予定について （丸山委員） スピーディーに実施すべき事業と機構が判断したのならば、新年度当初予算に間に合うように公募申請を行うべきではなかったのかというふうに思います。 事業費全額を繰越明許費設定としていますが、この事業費はいつの時点で執行を予定していますか。</p>	<p>（アドベンチャートラベル担当課長） 知事と観光振興機構会長との面談についてですが、道では、多くの団体等から予算要望がある中、限られた財源の下で、予算編成作業を行っていくこととなります。 知事からは、予算編成の考え方などについて、機構との間で認識の相違があったことについてお話ししたものと聞きしております。</p> <p>（アドベンチャートラベル担当課長） 観光庁公募事業についてですが、公募事業については、1月12日に観光庁で要領が示され、道は、1月17日に開催された観光庁の説明会に出席した後、機構と公募事業への申請に向けた検討を開始したところであります。</p> <p>（アドベンチャートラベル担当課長） 事業の執行予定についてですが、観光庁の公募事業については、1月12日に要領が示され、17日に国の説明会が開催されたことを受け、機構において、海外の個人旅行客を対象に、より質の高い旅行商品の造成の実現に向け、市町村や関係団体、事業者など多くの関係者との調整を行いながら、検討を進め、期限となる先月8日に申請を行ったものであります。 また、欧米豪FIT旅行客誘客・受入事業については、今年度中に着手し、施策効果が早期に発現されるよう、令和5年度予算として追加提案することとしたものであります。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(四) 予算提案の在り方について (丸山委員)</p> <p>本来であれば、最終補正予算は災害等の緊急的な経費を除けば、本年度予算の執行残等についての審査と議決がこれまでの最終補正の在り方だったと理解しています。それにもかかわらず、本年度予算とは何の関係もない事業費を全額繰越明許費設定とすることについては、これまでの原則を壊した重大な問題だというふうに指摘したいと思います。</p> <p>これまでの経緯を踏まえると、本当に必要な事業と判断するのであれば、当初予算に盛り込んで提案をするべきではなかったかと考えますけれども、見解を伺います。</p> <p>【指摘】 (丸山委員)</p> <p>ここまで聞いてきましたけれども、やはりこの事業を最終補正に入れなければいけなかった理由というのは、今だもって判然としていないということを指摘しておきたいと思います。</p>	<p>(アドベンチャートラベル担当局長)</p> <p>予算提案の考え方についてでございますが、道としては、先月8日の機構による申請を踏まえ、これと連動し、施策効果をより高めていくため、国の事業では制限のあるマーケティングやプロモーションに関し、新たに必要となる取組について、海外を含めた事業者や関係団体への確認を行うなど、事業内容や予算額などの検討に時間を要したものでございますが、今年度中に着手し、施策効果が早期に発現されるよう取り組んでいくことが重要と考えておりまして、令和5年度予算として、この時期において、追加提案することとしたものでございます。</p>